

## 平成29年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	海の生物の発生生殖生物学と環境ストレスへの応答		
実習内容	(9月は生命科学の学際領域にまで関係した内容です。)		
1、棘皮動物の発生と生殖	(英語の講義・実習あり)		
棘皮動物を使って、受精から幼生形態や変態を経て成体になっていく過程を観察し、組織分化や形態形成を調節するしくみについて実習する。			
個体発生における生殖細胞の形成機構について、予定域を除去しても調節されることのある棘皮動物の研究の最前線を紹介し、関係する遺伝子の機能について実習する。			
2、海の生物相の多様性と環境ストレスへの生命の応答			
各種採集(磯、灯火、プランクトン、ドレッジ)を通して、海の生物相の多様性とその生息環境の特徴を理解する。			
ウニなどの胚発生を利用した生物検定により、化学的・物理学的な環境ストレスが生物に及ぼす影響を調べる。海洋酸性化、マイクロプラスチック、内分泌攪乱物質、金属イオン、紫外線、浸透圧、温度など。			
海水生物(魚類、甲殻類、貝類、藻類)を対象とした生態影響試験等を行う会社の実際の業務の様子を紹介する。			
実習内容キーワード	生殖、発生、棘皮動物、採集、胚発生、生態影響試験		
担当教員氏名・所属・役職名	清本正人・お茶の水女子大学・准教授		
協力教員氏名・所属・役職名	Gary Wessel・ブラウン大学(アメリカ)・Professor Mamiko Yajima・ブラウン大学(アメリカ)・Assistant Professor 岩本 健輔・株式会社WDB環境バイオ研究所・開発研究員		
対象学生・学年	学部学生・院生	開講期間	平成29年8月29日～9日2日
開講大学・施設名	お茶の水女子大学 湾岸生物教育研究センター		
施設の住所	〒294-0301 千葉県館山市香 11		
電話	0470-29-0838	F a x	0470-20-9011
e-mail	kiyomoto.masato*ocha.ac.jp (*に@を入れてください)	Web Site	http://www.cf.ocha.ac.jp/marine/index.html
交通案内	東京駅八重洲南口から高速バス館山駅下車、または JR 内房線で館山駅。JR バス(西岬方面)で約15分、「長通り」下車、徒歩1分。		
費用	1日約2,000円		
授業科目名	公開臨海実習		
単位数	2単位	定員数	20名
授業料の徴収について	国・公・私立大学を問わず不徴収		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	書類選考。 締め切りは募集要項やホームページで確認のこと。		
選抜結果連絡法	e-mailによって、履修に必要な情報とともに本人に連絡する。		